

足元の円高について

＜円は一時対米ドルで78円台、対ユーロで109円台に＞

7月12～13日東京時間早朝の外国為替市場では円高が進み、一時対米ドルで78円台、対ユーロで109円台をつけました。12日の海外終値は1米ドル=79.24円(前日比1.02円の円高)、1ユーロ=110.74円(同1.87円の円高)、1豪ドル=83.98円(同1.55円の円高)、1ブラジルリアル=50.17円(同0.63円の円高)となっています。現在市場では、①「米国を中心とした世界経済の景気見通し」と、②「欧州の財政懸念」が、注目されています。

＜米国経済への先行き懸念＞

中国をはじめとする新興国は、昨年来インフレ対策から積極的に政策金利の引き上げ等の金融引き締めを実施してきましたが、その結果、足元で成長は継続しているものの一時と比較するとその勢いはやや鈍化しています。一方米国を中心とする先進国も日本の大震災の影響等で、経済が一時的に停滞しました。

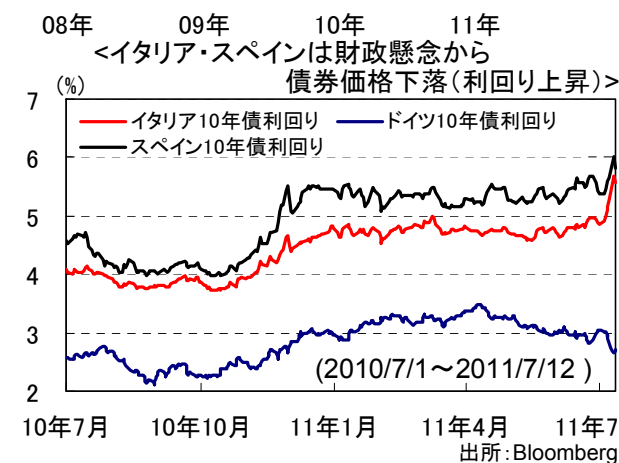
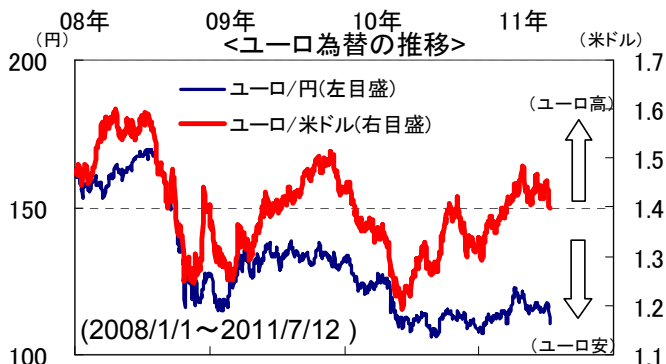
足元の米国では経済の持ち直しを示すような経済指標が散見されていましたが、先週末(8日)に発表された雇用統計で、予想に反して雇用環境の改善がみられない指標が発表されました。そのため、再び米国を中心とした世界経済への先行き懸念が意識され、リスク回避的な動きから、対円や対スイスフランでの米ドルの売りや、豪ドル等の高金利通貨の売り、の動きが見られました。

＜財政懸念がスペイン・イタリアまで拡大＞

先週5日米格付け会社ムーディーズがポルトガルの格付けを投機的階級まで格下げしたことをきっかけに、一旦は落ち着きを見せるかと思われた欧州の財政懸念に再び注目が集まりました。ギリシャ、ポルトガル、アイルランド(昨日12日にムーディーズが投機的階級に格下げ)は、従来より懸念されていましたが、いわゆる「PIIGS」の残りのイタリア・スペインにまで拡大したことから、「ユーロ」通貨そのものへの不信が高まり、ユーロは大幅に売られる展開となりました。

＜今後の見通し:懸念は徐々に解消し、それに伴い円安へ＞

足元では上記の二つの懸念により、消去法的に低金利である円やスイスフランが買われている状況です。当社では、新興国を中心に世界経済は緩やかな景気回復を継続すると予想しています。欧州の財政懸念については、短期的に解決できる問題ではなく、今後もくすぶり続けると考えられますが、各国の財政再建の動きに加え、経済が好調なドイツが支えることで、ユーロが崩壊するような事態に陥る可能性は低いと考えます。懸念が徐々に解消するにつれ、低金利の円は売られる(円安になる)展開を予想しています。



■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
 ■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
 加入協会 (社)投資信託協会、(社)日本証券投資顧問業協会

出所: Bloomberg

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を当社との相対取引によりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会: 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会、
一般社団法人 第二種金融商品取引業協会